

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳癌 3週毎 PER + TRA + nab-PTX療法		臨床区分 ☒ 日常診療 ☐ 単施設自主研究 ☐ 他施設自主研究 ☐ 市販後臨床研究 ☐ 治験	抗癌剤適応分類 ☒ 進行・再発化学療法 ☐ 術後化学療法 ☐ 術前化学療法 ☐ 局所療法 ☐ その他	登録日	2016年11月9日	
疾患名	乳癌				1クール期間	21日	
診療科名	乳腺・内分泌外科					実施回数	/回
登録医師名	高橋 寛敏						

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	側管	60min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1) 初回投与時のみ840mg (2回目以降420mg) ※初回投与の忍容性が良好であれば、投与時間30minまで短縮可能 2) 投与終了後、60分の経過観察を行う。 ※初回投与の忍容性があれば、観察期間は30minまで短縮可能
	バージェタ点滴静注 420mg	840	mg/body														
3	生理食塩液	250	mL	点滴静注	側管	90min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1) 初回投与時のみ8mg/kg (2回目以降6mg/kg) ※初回投与の忍容性が良好であれば、投与時間30minまで短縮可能
	トラスツズマブ点滴静注用	8	mg/kg														
4	グラニセトン点滴静注液3mg/バック	1	袋	点滴静注	側管	15min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	投与終了後、生理食塩液でフラッシュすること。
	デキサート注射液 6.6mg	1	瓶														
5	生理食塩液	適量	mL	点滴静注	メイン	30min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	各バイアル生食20mLで溶解し、使用量のみ空容器に注入 ※メインルート使用（生食のみ配合可能） ※インラインフィルターを使用しないこと。 ※特定生物由来製品であるため、ロット番号入力をお忘れしないこと。 ※特定生物由来製品であるため、同意書が必要
	アブラキサン点滴静注用	260	mg/m2														
6																	

備考欄

※JBCRG M05 (PRECIOUS) 試験を行う場合

★バージェタ：何らかの理由により、予定された投与が遅れた場合、前回投与日から6週間未満のときには、維持投与量 420 mgを投与する。前回投与日から6週間以上のときには、初回投与量の840 mgで投与を行い、以降は維持投与量 420 mgを3週間隔で投与する。（添付文書と同様）

★ハーセプチン：何らかの理由により、予定された投与が遅れた場合、前回投与日から6週間未満のときには、維持投与量 6 mg/kg を投与する。前回投与日から6週間以上のときには、初回投与量の8 mg/kg で投与を行い、以降は維持投与量 6 mg/kg を3週間隔で投与する。（添付文書と異なる。）

減量・中止基準

※JBCRG M05 (PRECIOUS) 試験を行う場合は、臨床研究実施計画書に沿って減量・中止を行うこと。

文献